

# STOP超勤 ニュース③



～「働き方実態アンケート」の結果から考える～

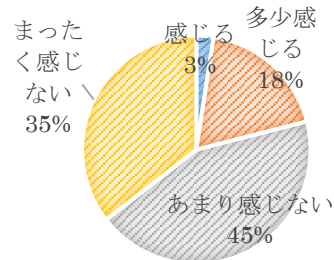


## 労働時間の記録が働き方改善に 反映されていると「感じない」。約8割

☆労働時間の記録結果が、本来の目的に生かされておらず、むしろ、学校現場へのプレッシャーとなっている。組織的な改善という点で極めて不十分な状況であり、時間の意識や現場段階による工夫では解決できない。

「労働時間の記録は、『業務量の適切な管理』や『教育職員の健康及び福祉の確保』に反映されていると感じますか？」

感じる	41	3%
多少感じる	292	18%
あまり感じない	730	45%
まったく感じない	571	35%
合計	1,634	



ちなみに、道教委は以下のように言っていますが・・・（道立学校出退勤管理システム）

### 1 趣旨

道立学校職員の業務量の適切な管理その他の健康及び福祉を確保するため、道立学校出退勤管理システムにより、学校職員の在校時間を客観的に計測・記録するとともに、教育職員の業務量の適切な管理等に関する教育委員会規則に定める在校等時間を集計する。

目的は、労働者保護であって、  
管理強化ではないはずなのに・・・

「そんなこと、感じない!!!」

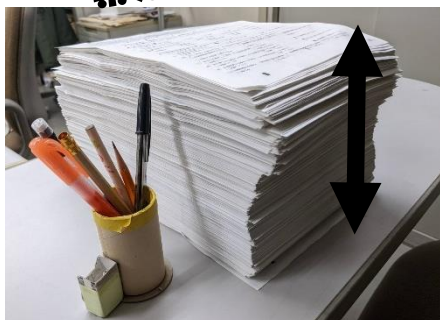


### 学校現場の声

「校長の圧力により時間外勤務の記録を消去されてしまうことがありました。」

「労働時間の記録は勤務状況の把握とおさえていましたが、管理職によっては個別で呼ばれて「早く帰りなさいよ」「私が怒られるんだから」と言われました。」

大奮闘！約1600枚  
緊急集会で学ぼう！



## 「STOP超勤 緊急集会2021」

～「働き方実態アンケート」結果から見えるもの～

12月12日（日） 13:00～15:00

全道の職場の実態  
を交流しましょう！

（オンライン開催）

内容：アンケート結果について・今後の展開



ゲスト：北海学園大学 教授 川村 雅則 さん

主催 《全北海道教職員組合・北海道高等学校教職員組合》



アンケート実施主体  
北海道高等学校  
教職員組合  
011-231-0816  
全北海道  
教職員組合  
011-742-0101